

平成26年度の発電所周辺環境監視調査結果についてお知らせします

- ◆ 柏崎刈羽原子力発電所では、「放射線」や「温排水」が発電所周辺の環境へ与える影響について、継続して調査しています。
- ◆ 平成27年8月28日、安全協定に基づく「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議※」が開催され、平成26年度に当社ならびに新潟県が実施した柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線および温排水等の監視調査結果について評価をいただきました。
- ◆ 環境放射線監視調査では「**発電所からの周辺環境への影響は無視できる**」、また温排水等漁業調査では「**過去と比較して特異な傾向は認められなかった**」と評価されました。

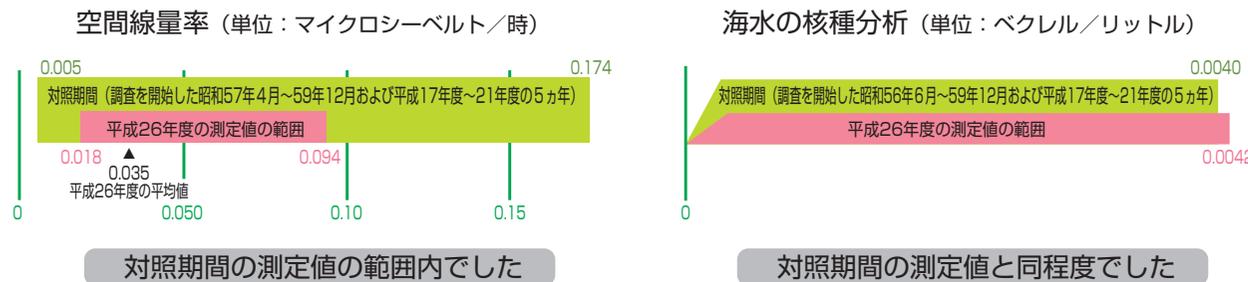
※学識経験者などで構成される会議（会長：新潟県知事）

評価の概要

【環境放射線監視調査】

柏崎刈羽原子力発電所周辺の空間放射線、ならびに農作物などの環境試料中の放射能を調査しました。

「問題となるような測定値は認められず、発電所からの周辺環境への影響は無視できる」と評価されました。



発電所周辺環境監視調査の対象と場所



【温排水等漁業調査】

柏崎刈羽原子力発電所周辺海域の水温、塩分やプランクトンなどの海生生物の状況を調査しました。

「これまでの結果と比較して特異な傾向は認められなかった」と評価されました。



評価の詳細は、新潟県ホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/housyanoutaisaku/1356822296117.html>
 (新潟県ホーム>産業・労働・まちづくり: エネルギー情報化>(2015年8月28日)第63回評価会議)